

被爆の語り部 沼田鈴子さんの半生を映画化 「アオギリにたくして」 上映会

22歳の夏、広島で被爆し左足を失った沼田鈴子さん。焼け焦げたアオギリが新芽を出す姿に励まされ、自殺を思いとどまり、やがて原爆記録映画への登場をきっかけに、証言活動をはじめられたそうです。

今年は被爆 70 年に当たります。広島県の男女共同参画をすすめる会では、今一度平和の大切さを考える機会をもつために、標記の映画会を企画しました。

どなたでもご参加できます。お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

◆日時：平成 27 年 5 月 23 日（土）13 時～15 時

◆場所：エソール広島 広島市中区富士見町 11-6 TEL082-242-5252

◆上映協賛金：500 円



映画「アオギリにたくして」.

《登場人物》キャスト.

▽田中節子：原日出子.

▽永沼秀明：渡辺裕之.

▽田中秀雄（節子の父）：風見 しのぶ.

▽節子の母（若い頃）：斉藤とも子

「アオギリにたくして」は、アオギリの語り部と呼ばれ、広島平和記念公園の被爆アオギリの木の下でたくさんの人々に被爆体験を語り感銘を与えてきた被爆者・故沼田鈴子さんをモデルに作られました。

広島平和記念公園にある被爆アオギリは、爆心地から 1.3km にあった広島逡信局の中庭で被爆しました。熱線と爆風を受けた爆心地側の幹半分は、焼けてえぐられていましたが、樹皮が傷口を包むように成長し、芽を吹きました。

アオギリの小さな芽は、70 年は草木も生えないと言われた広島で、たくさんの人々を勇気づけたといえます。

1973 年に平和公園に移植された被爆アオギリは、今も元気に平和公園を訪れる人々を迎え「平和の尊さ」と「いのちの大切さ」を伝えてくれています。

【主催】 広島県の男女共同参画をすすめる会 会長 井上佐智子

【共催】 公益財団法人広島県男女共同参画財団（申請中）・広島市男女共同参画推進センター（申請中）
NPO 法人ひろしま女性 NPO センター未来

【問合せ】 井上 携帯 090-9463-0338 e-mail luckey@network.email.ne.jp